



# EDB Postgres 構成ガイド

SIOS Technology, Inc.

Innovative Solution Business Planning Dept.

Tatsuhiko Murata



# 世界中の人々のために、不可能を可能に。

## SIOS is Innovative Open Solutions

私たちサイオスグループは、イノベーションによって人々の課題を解決し、より良い社会の実現に貢献します。

### 会社概要

会社名	サイオス株式会社（英語表記：SIOS Corporation）
設立	1997年5月23日 （5月23日は、1995年 SunWorldで初めてJavaが発表された記念となる日です）
市場情報	東京証券取引所 第二部 3744
所在地	〒106-0047 東京都港区南麻布2-12-3 サイオスビル
グループ会社	サイオステクノロジー株式会社 〒106-0047 東京都港区南麻布2-12-3 サイオスビル  SIOS Technology Corp. 155 Bovet Road, Suite 476, San Mateo, CA 94402, U.S.A.  株式会社グルージェント 〒106-0047 東京都港区南麻布2-12-3 サイオスビル  株式会社キーポート・ソリューションズ 〒106-0047 東京都港区南麻布2-12-3 サイオスビル  Profit Cube株式会社 〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-20 天王洲郵船ビル17F

沿革	
1997年 5月	株式会社テンアートニ設立
2002年 1月	ノーザンライツコンピュータ株式会社と合併
2004年 8月	東証マザーズに上場
2006年 6月	SteelEye Technology, Inc.（現SIOS Technology Corp.）を買収
2006年 11月	社名をサイオステクノロジー株式会社に変更
2008年 2月	株式会社グルージェントを子会社化
2009年 12月	関西営業所を開設
2013年 7月	南麻布へ本社移転 中部営業所を開設
2013年 11月	DirectorsGear事業をニフティから買収
2014年 4月	九州営業所を開設
2015年 4月	株式会社キーポート・ソリューションズを子会社化
2015年 5月	東証第二部へ市場変更
2015年 6月	BayPOS合併会社設立
2015年 10月	Profit Cube株式会社を子会社化
2017年 10月	サイオス株式会社を持株会社とする経営体制への移行に伴い、サイオステクノロジー株式会社を事業会社として分割



# 構成を検討する流れ

## 1.製品選択

製品を以下2種類から選択します。

- ・ Enterprise Edition （データベースコア：Advanced Server）
- ・ Standard Edition （データベースコア：OSS PostgreSQL）

## 2.課金ポリシーの確認

EDB Postgresが動作するプラットフォームのCPUコア数を確認します。

※ uniCore 単位の課金ポリシーを採用することで、物理サーバー、仮想サーバー、クラウド環境、コンテナ環境どこでもご利用頂けます。

## 3.クラスタリング 構成の検討

想定されるクラスタリング構成がどのスタンバイ構成が該当になるか確認



# 1.製品選択

## EDB Postgres Enterprise Edition

DB : EDB Postgres Advanced Server

- PostgreSQLをベースにEDB社が独自に機能拡張を行なったエンタープライズ向けRDBMS
- EDB社開発の各種ツールを提供
- 24/365のサポートを提供
- 年間サブスクリプション契約

## EDB Postgres Standard Edition

DB : PostgreSQL

- OSS PostgreSQLをRDBMSエンジンに使用
- EDB社開発の各種ツールを提供
- 24/365のサポートを提供
- 年間サブスクリプション契約



■EDB Subscriptionでは、CPUのコア数をカウントします。



仮想環境やクラウド環境ではアサインされている仮想コア数もしくは仮想CPU数をカウントします。

環境によってCPU係数がかけられることはありません。

仮想環境やクラウド環境では、クラスタを組んでいる場合に全ての環境が対象となることはありません。



# 環境を選ばない EDB Postgres

■EDB Subscription ではサポートする環境であれば使用する環境を選びません。



物理、仮想、クラウド、コンテナ、全ての環境で統一したuniCore単位の購入でご利用頂けます。

仮想環境で不利益になるようなクラスタリング環境が全対象になることはありません。

利用できるクラウド環境が制限されたり、不利益になるようなライセンス体系は課せられません。

EDBがサポートしている製品とプラットフォーム <https://www.enterprisedb.com/ja/services-support/edb-supported-products-and-platforms>



# クラスタリング構成の場合

■EDB Subscriptionでクラスタリング構成を組む場合、3つのスタンバイモードより適用されます。



ライセンス : 1.0

稼働状態、Hotstandby設定を使用する「HotStandby」

ライセンス : 0.5

DBはリカバリーモードを使用する「WarmStandby」

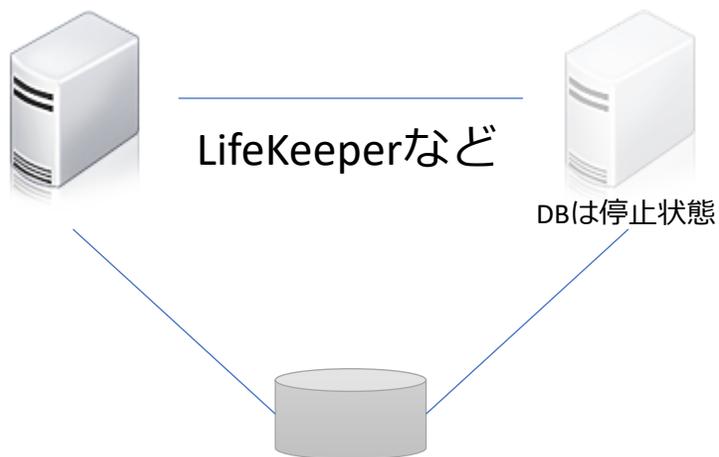
ライセンス : 0

DBが停止状態で待機する「ColdStandby」



# Standby構成の例

## ColdStandby



共有ストレージ or  
レプリケーション (DRBD, DataKeeperなど)

待機系はOSもしくはDBが停止した  
状態

データは共有ディスクやDB以外のレ  
プリケーション技術を使用して共有

## WarmStandby



待機系DBはリカバリーモードで起動  
ログ SHIPPINGもしくはストリーミン  
グレプリケーションを使用

## HotStandby



両DBは起動状態

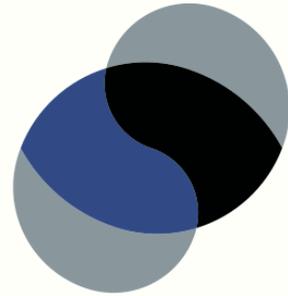
ストリーミングレプリケーションを使  
用、postgresql.conf  
の設定でHot\_standby=on  
となっている場合に該当



# 3つのスタンバイ状態

	HotStandby	WarmStandby	ColdStandby
DBはインストールされているか？	Yes	Yes	Yes
待機系のDBは起動しているか？	Yes ストリーミングレプリケーションを使用	Yes (リカバリーモード) ストリーミングレプリケーション or ログ SHIPPING を使用	No DB以外のレプリケーションメソッドを使用
postgresql.conf の設定 Hot_standby=on となっているか	Yes	No	No





# SIOS

サイオステクノロジー株式会社  
イノベーティブソリューション事業企画部

EDB製品に関するご相談は下記フォームよりお気軽にご連絡ください。

[https://lp.sios.jp/IS\\_OSS\\_LP\\_OSS1.html](https://lp.sios.jp/IS_OSS_LP_OSS1.html)

